

ウルコル YRKOR


2021年創設。コムズ(撥弦楽器)ヤクル クャック(撥弦楽器)、オーズ コムズ(口琴)などを中心とした従来の民族楽器アンサンブルに、ギター、ベース、キーボードなどのバンド編成を組み合わせた、唯一無二のフォークロックアンサンブル。「ウルコル」の名は、プレアデス星団「すばる」を意味し、かつて遊牧民が星を頼りに生きてきた歴史と、世代を超えて受け継がれる文化を象徴する。

各楽器奏者にはキルギス最高峰の実力を有する名手が集まる。キルギスの伝統を守り発展させるといふ強い使命を胸に、キルギスの伝統音楽の文脈を活かしながらロックやジャズのエッセンスも融合させ、多くの世代の心を揺さぶる「新しい伝統音楽」を創造している。国内外で非常に高い評価を受け、2024年にはCentral Asian Music Award受賞。2025年の大阪・関西万博では、キルギス共和国ナショナルデーに代表アーティストとして招聘され大喝采を得る。このときは、歌手の伴奏という役割が中心だったが、日本の観客と音楽を通じて向き合う中、「ウルコル本来の音楽世界」を日本の聴衆に直接届けたいという思いがより一層強まり、今回の初・単独ツアーが実現。11名のメンバーによる、伝統楽器と現代楽器が一体となり、さらに日本の楽器を迎え入れた、彼ら本来のパフォーマンスを披露する。




カレンドラロフ カンバル
Календаров Камбар
(リーダー、作曲、キーボード)

1988年7月6日生まれ。作曲家、音楽学者、ピアニスト、民族音楽奏者。ムラターリ クレンケエフ記念キルギス国立音楽学校およびK.モルドバソノフ記念キルギス国立音楽院を卒業。国際コンクール受賞歴を持ち、多くの国際フェスティバルに参加。キルギス共和国文化功労者。民族アンサンブル「ウルコル」代表。グループの精神的支柱。愛車は、もちろんスバル。2025年 大阪・関西万博出演、同年9月には、弟エミルと二人で来日、東京と名古屋で公演。CD「ムンダナムガ(世代から世代へ)」。




イシェンベック ウール エミルベック
Ишенбек уулу Эмилбек
(クルクヤック、コムズ、ヴォーカル、チェロ)

1993年6月1日生まれ。通称エミル。伝統楽器と西洋楽器を自在に操るマルチンストゥルメンタリスト、作曲家、歌手。2019年、キルギス国立音楽院および伝統音楽学校「ウスタト シャキルト」を卒業。現在、「ウルコル」のメンバーとして活動するほか、「ムラス」フォークロアアンサンブルの指導者も務める。20カ国以上で公演を行い、国際コンクールの受賞歴を持つ。2024年 キルギス共和国文化優秀者。2025年「ムンダナムガ(世代から世代へ)」アルバム制作参加。



オモロワ アイサーナ
Оморова Айсана (ヴォーカル、コムズ)

1997年6月2日生まれ。コムズ奏者、歌手。2017年、ムラターリ クレンケエフ記念キルギス国立音楽学校音楽理論専攻を卒業。2022年、キルギス国立音楽院を民族音楽専攻で卒業。現在、民族音楽アンサンブル「ムラス」および「ウルコル」のメンバーとして活動中。国際コンクールおよび音楽フェスティバルの受賞歴多数。日本、アメリカ、南アフリカをはじめ、20カ国以上の舞台上で公演経験あり。




アイダラリエフ アカイ
Айдаралиев Акай
(ダブルバス、パーカッション)

1990年11月21日生まれ。打楽器奏者。2018年 キルギス国立音楽院卒業。2017年、アンサンブル「オールド サフナ」のメンバーとして日本公演を行う。現在、「ムラス」民族アンサンブルおよび「ウルコル」で活動。D.シェラリエフ記念児童音楽学校にて打楽器講師も務める。




ヌルガジエフ ダニヤル
Нурмагизиев Данияр (ヴォーカル)

1984年12月1日生まれ。歌手。2007年 キルギス国立教育大学卒業。2009年より「カイロス」、2022年より「ウルコル」に参加。2024年 Central Asian Music Awards受賞。ソロプロジェクト「DAN TUTAN」でも活動。



ソヴェット ウール テミルラン
Совет уулу Темирлан
(チャール、チョボ、チョール、スズグ、オーズ、コムズ)

1996年9月26日生まれ。民族音楽奏者。2016年 ムラターリ クレンケエフ記念キルギス国立音楽学校卒業。2021年 キルギス国立音楽院卒業。現在、「ムラス」および「ウルコル」に所属。2017年、アンサンブル「オールド サフナ」のメンバーとして日本公演を行う。ヨーロッパ・アジア各国でも演奏活動を行っている。



ダニロフ エフゲニー
Данилов Евгений (ベース)

1979年10月2日生まれ。ベーシスト。通称ジョン。1996年 ムラターリ クレンケエフ記念音楽学校卒業。2010年よりグループ「カイロス」、2022年より「ウルコル」に参加。2025年、大阪・関西万博出演。



シェリック ウール シェルクル
Шерик уулу Шеркул
(コムズ、チャール、チョボ、チョール、オーズ、コムズ)

1993年9月14日生まれ。民族音楽奏者。2019年 キルギス国立音楽院卒業。現在、「ムラス」「ウルコル」「カンバルカン」などで活動。



ストレルツォワ クセニヤ
Стрельцова Ксения (ヴォーカル)

1990年5月24日生まれ。歌手。2017年 キルギス国立音楽院卒業。現在、「カイロス」「ウルコル」に所属し、ソロプロジェクト「Wonderzero」でも活動。



ジュラエフ チンギズ
Жураев Чынгыз (ギター)

1982年11月22日、キルギス・オシュ生まれ。ギタリスト、作曲家。オシュ音楽学校卒業後、音楽院で研鑽。現在、「カイロス」および「ウルコル」で活動。



ハーン エフゲニー
Хан Евгений (ドラムス)

1991年10月21日生まれ。2015年 ムラターリ クレンケエフ記念音楽学校卒業。現在、「ウルコル」メンバーとして活動。



Instagram: @YRKOR_MUSICBAND
MUSIC VIDEO

特別出演

●日本太鼓 猛〜TAKERU〜(和太鼓) Nippondaiko Takeru



・TAKERU
21歳で和太鼓を始める。2001年富士山大太鼓一人打ちコンテストにて 最優秀賞を受賞。これを機にプロとして活動する。千葉県を拠点に国内・海外で演奏やワークショップを行い、和太鼓の魅力を伝えている。

・石田 充志 Ishida Atsushi
11歳より和太鼓を始め13歳から「上総の国 房州太鼓」に入会。17歳から和太鼓奏者TAKERUに師事。2025年キルギスにて世界伝統文化音楽祭「ルフ・サナト」に師と共に出演し、3位受賞。

●コムズサムライ Komuz Samurai (日本在住コムズ奏者)

青木文恵 Fumie Aoki / 赤岩ひとみ Hitomi Akaiwa / 安藤岳洋 Takehiro Ando/ 池野宏樹 Hiroki Ikano
伊藤友里 Yuri Ito / 大島香織 Kaori Oshima / 緒方美鈴 Misuzu Ogata / 加藤万璃子 Mariko Kato
黒髪雄一郎 Yuichiro Kurokami / 篠原美羽 Miu Shinohara / 平野里奈 Rina Hirano / 松原一磨 Kazuma Matsubara

●サキタハジメ Hajime Sakita
ミュージカルソー



YRKOR TOBY - Кыргыз аспаптарынын маданий кечеси

“CONNECTING CULTURES THROUGH SOUND”

YRKOR CONCERT IN JAPAN

キルギス共和国大使館主催 ウルコル来日コンサート

『響きあう伝統～音が紡ぐ文化のつながり』



2026年3月1日(日) 開演13:00

文化会館ラブリーホール
大阪府河内長野市西代町12-16



◆ ごあいさつ ◆

親愛なるご来場の皆様

本日は、キルギスで最も人気を誇るフォークロックバンド「ウルコル」(YRKOR / YRKOR)の公演にご臨席賜り、心より歓迎申し上げます。
「ウルコル」は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)におけるキルギス共和国ナショナルデーで盛大な喝采を浴び、このたび日本の皆様にもその魅力をお届けする運びとなりました。コムズ、クルクヤク、オーズコムズといった伝統楽器に、ギター、キーボード、ベースを融合させた独自の音楽は、キルギスの豊かな文化と現代的な感性を見事に調和させています。本日の演奏を通じて、皆様がキルギス文化の精神に触れ、伝統と現代が織りなす響きに心を動かされるひとときをお過ごしいただけましたら幸いです。そして、キルギスの温かいおもてなしの心を感じていただければ幸いです。

◆ プログラム ◆

- 1. タイプールル Тайбуурул Канбар, Эмил 作・編曲
タイプールルは、英雄マナスが、サイカルという女性英雄と戦った際(当初は敵として相まみえるが、やがて恋に落ちる)、サイカルから贈られ、のちに息子のセメテイに受け継がれた愛馬の名。
キルギス民族の口承文学の遺産である英雄叙事詩「マナス」は、千年の歴史を誇る壮大な物語であり、そこには遊牧民の歴史や価値観、世界観が色濃く反映されている。登場する英雄たちや彼らの武器、忠実な馬は、民族の精神世界を映し出している。
2. Жалжалым Жалжалым Аккария Эф Жамин Акималиев Жамин 詞・曲
カンбар 編曲
民族的な趣を持つラブソング。若い男性が、愛する人を咲き誇る花に例え、彼女への想いと憧れを表現し、運命が二人を結びつけたと歌う。
3. Сары Өзөк Абдуллаф Манов Мурак Абдырахманов Нурак 作 ウルコル 編曲
キルギスの国民楽器としての位置をしめる、3弦のコムズを用いて現代風に演奏された革新的なメロディー。静寂に包まれた野原、時に激しく波立つ湖、そして流れる川など、様々な自然の情景を映し出している。自然と融合していく人々の流れを描いている。
4. Алымкан Сатулганов Фуктугул Сатылганов Токтогул 詞
Эгинчиев Бектемир 曲
コムズ: アイサーナ
キルギスのラブソングの最高峰に位置する作品。詩人トクトグルは、アルムカンという少女に恋をし、彼女に愛の詩を捧げた。後にベクテミルがこの歌に新たな息吹を吹き込むべく、メロディーを作曲。それは世界中に広まり、キルギスの歌唱の可能性を大きく切り開いた歌として、歴史に名を残した。
5. Торгой таңшык Канбар 作・編曲
山間に響くヒバリの朝の歌声を、鉄製の口琴テミルコムズで表現した楽曲。魂と自然との対話、心に秘められた想いが旋律に込められている。
6. Оп майда 編曲者不明
キルギス古い民謡の一つ。我々の祖先は畑を耕しながら、この歌を集団で歌っていた。このような歌は、人々の作業を楽にし、リズムを一定に保ち、仕事の励みとなり、また疲労回復にも役立っていた。
7. Ала тоонун уулумун Эмил 詞・曲・編曲
キルギスの子供たちは皆、雪に覆われた白く高い山々に囲まれた、神聖な場所です。この歌は、キルギスの土地の美しさ、伝統的な価値観の尊さ、そして民族の伝統競技の独自性を表現し、若い世代に自然を尊重し、故郷を愛するよう呼びかけている。
8. Долон Шералиев Жумамүдүн 作詞
Тагаев Калибек 作曲
カンбар 編曲
「ドルン」は、ナルン州のソソル山脈とバイドゥルー山脈の間に位置する、標高3,030mの峠の名。この歌は、キルギス人が自然を歌った最も影響力のある作品の一つで、ドルン峠を越える道を象徴として、人生の旅路における素晴らしい瞬間と自然の美しさを融合させている。
9. Топ жылкы 編曲者不明
クルクヤク: エミル
2弦の撥弦楽器クルクヤクによる哲学的な楽曲。古の昔より、馬はキルギス人の生活の中心にあり、キルギス人にとって、馬は自由の象徴である。馬の蹄の音と広大な草原の自由な息吹、そして遊牧民が馬に乗って草原を駆ける様子を表現している。

- 10. Токтогулдун кербези Сатулганов Фуктугул Сатылганов Токтогул 作 ウルコル 編曲
トクトグルは、キルギス音楽家の規範とも言うべき人物であり、コムズ奏者、作曲家、そして詩人でもあった。20世紀、裕福な貴族に反抗する歌をうたったためシベリアに流刑に処された。彼は、人々に別れを告げ、願いと忠告を歌った。後に彼の歌は古典となり、「トクトグルのケルベズ」と呼ばれた(ケルベズは、メロディーの名)。この曲は、すべてのコムズ奏者が最初に学ぶ曲である。ウルコルはこの作品に新たな命を吹き込み、現代風にアレンジした。
11. Маш бошой Атай Огонбаев 作
Асанкан Жумакуматов Асанкан Жумакуматов 編曲
最も有名なキルギスの伝統曲のひとつ。馬蹄の轟き、人々の歓喜の声、そしてキルギス人の陽気な気質を反映したこの曲は、聴く人の心に永遠に残る。2016年にチオルボンアタで開催された世界遊牧民競技会の開会式では、1,000人のコムズ奏者が同時にこの曲を演奏し、ギネス記録を樹立した。
12. Паризат Бекмуратов Саид 作
カンбар, Эмил 編曲
パリザットは、特別な奥深さを持つ、魔法のようなキルギスの歌の一つ。キルギスの南に国境を接する国はベルシャ系であるため、その音楽の一部はベルシャ音楽に似ている。パリザットとは妖精、あるいは高貴な女性を意味する。
13. Чексиздик Эмил 作
カンбар, Эмил 編曲
遊牧民と自然との絆、古代の世界観、そして世代を超えて受け継がれてきた文化を表現したエミルの作品。険しい山々や、馬に乗り鷹狩りを行った祖先たちの生活が思い起こされる。伝統的な響きと現代の音楽表現が融合し、民族楽器の新鮮な響きに溢れている。
14. 流星 Атылган жылдыз TAKERU 作
和太鼓: 日本太鼓 猛~TAKERU~
15. Мезгил жаңырыгы + Күн күйгүзгөн кагылыш
カンбар 作+ TAKERU 作
カンбар 編曲
「時の響き」は、鉄製口琴テミルコムズと、木製口琴ジガチ オーズコムズを中心とした現代音楽。アメリカ滞在中にステイヴライヒのリズムと反復の音楽に感銘を受けたカンバルが、民族音楽と現代音楽を融合させ、民族音楽アンサンブルの可能性を広げることに挑戦。様々な種類の口琴と特殊な演奏技法を用い、時の流れを表現している。今回の日本公演では、日本の太鼓と共演する。

会場ロビーにて出張販売中！
キルギスエキスポバザール
万博キルギスパビリオンの展示品をご購入頂けます！
キルギスハニー、ドライアップル、チョコレート、雑貨etc...



ウルコルメンバー
CD, カレンダーも
販売中！

CD: 「MUUNdan MUUNga
(世代から世代へ)」
Kambar & Emil from YRKOR
カンバルとエミルの初アルバム
(2025)。エミルの伸びやかな歌声が泣かせる。二人のソロとデュオを中心に、ウルコルのメンバーが参加した曲も。



本公演は、キルギスの伝統楽器と文化を未来へつなぐための音楽交流プロジェクトです。公演の実現と新たな創作の場づくりに向け、現在クラウドファンディングを実施しています。ぜひ応援・ご参加ください。皆さまのご支援が、次の世代へ文化を手渡す力になります。【募集終了: 2026年3月15日 23:59】

ナレッジキャピタル TheLab 内
Instagram オンラインストア

◆ キルギス音楽と楽器 ◆

キルギスの音楽は、遊牧民の暮らしと深く結びつき、自然や英雄の物語、喜びや祈りを文に託して受け継がれてきました。代表的な民族楽器「コムズ」は、3弦の撥弦楽器で、語るように旋律を紡ぎます。アクトパティクな演奏も見どころです。2弦のキルクヤクは、むせび泣くような音色を持ち味としています。また、口琴オーズコムズ(鉄製のテミルコムズと、木製の紐口琴ジガチ オーズコムズの2種があります)は、メロディを紡ぎ、土笛チョール、縦笛チョール、横笛スズグは、風や大地の響きを思わせる素朴な音色が特徴です。文字よりも音で歴史を伝えてきたキルギス音楽は、今もなお人々の記憶と心をつなぐ「生きた文化」として響き続けています。



- 【主催】 ARIENTA アリエンタ株式会社
【協力】 OIMO JAPAN LLC (一社) 日本キルギス文化交流協会
【協賛】 ak-sai travel Ak-Sai Travel Ltd EIGHTY 株式会社エイト
Gakken 株式会社学研ホールディングス / アイ・シー・ネット株式会社
Yoshida 学校法人 啓生学園 日本旅行 日本旅行 Nippon Hospitality Travel LLC
一般社団法人在日キルギス人協会 JAPAN CARGO
【共催】 ウルコル来日公演実行委員会 サマコフ イバラット(代表)
緒方 美鈴 / 安藤 岳洋 / バイボスノフナズム / 上田 陽子 / 玉井 秀和 / 松原 一磨 / 直川 礼緒(事務局)
Orgkomitetтин курамы:
Самакова Ибарат (Жетекчиси) / Огата Мисузу / Андо Такэхиро / Вайбосун Назым
Уэда Йоко / Таман Хидеказу / Мацубара Казума / Тадагава Лео (Япониядагы өкүлү)